

平成 30 年度畜産・酪農収益力強化総合対策基金事業（平成 29 年度補正）
繁殖性等向上対策事業（技術力向上のための研修）

「ウシの繁殖性向上に向けた獣医療技術講座」

in 宮崎大学

開 催 要 領

1 目 的

畜産・酪農の生産力強化を図るためには、地域の課題となっている繁殖性の向上や子牛の損耗防止等の技術的な問題を改善していくことが必要となる。

そこで、本事業では、先進的または高度な畜産技術を活用して地域の課題を解決できる畜産技術者を養成するため、繁殖性向上に係る技術を有し、研修会等の開催が可能な専門機関（畜産試験場、大学等）に協力を要請し、地域のニーズに即して行う実践的な研修会を開催する。

本研修会においては、畜産農家の生産力強化、収益性向上のための技術（体外受精卵の作出に必要な技術、超音波画像診断技術）について、現場で実践するための必要な知識、基本的な手技の習得を目指す。

2 主 催 公益社団法人 畜産技術協会

共 催 宮崎大学 農学部

3 開催日時 平成 30 年 9 月 28 日（金曜日） 10:00～17:30 （予定、9:30 から受付）

4 開催場所 宮崎大学 木花キャンパス 産業動物教育研究センター
（〒889-2192 宮崎市学園木花台西 1 丁目 1 番地）

5 研修内容及び講師

【体外受精卵の作出技術】

講師：平田 統一（岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター 助教）

杉山 勇（株式会社メディカル・タスクフォース 部長）

内容：（午前）講義 （午後）経膈採卵（OPU）および体外胚作出に向けた操作の演習

6 募集人員 10 名

※受講希望者多数の場合は、選考にて実習受講者を選定するものとします。

7 参加費用

（1）研修会の受講料は無料

（2）研修会受講のために必要な交通費、宿泊費等は受講生が各自負担するものとします。

8 参加申込 受講をご希望の方は、9月14日(金)までに、別紙「研修参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailで事務局あて申し込みをお願いします。

9 申込先 公益社団法人 畜産技術協会 担当；鈴木、渡邊

TEL：03-3836-2301

FAX：03-3836-2302

E-mail：oubo@jlta.jp

10 その他 防疫に関する注意事項【重要】

- (1) 受講前（開催日）は、偶蹄類動物（牛、豚、山羊、羊、イノシシ、シカ等）と接触せず、来場してください。
- (2) 1 カ月以内に海外を訪問した人は、事前に申告してください。
- (3) 研修日前 4 カ月以内に海外で使用した器具・衣服・靴等を実習参加時に持参しないでください。やむを得ず使用しなければならない場合には、事前に洗浄及び消毒その他の処置を講じてください。
- (4) 牛に触れる研修中は防護服（タイベック）、長靴、手袋を着用しますが、すべてこちらで準備したものを使用してください。また、防護服を着ても蒸れない服装をおすすめします。

平成 30 年度畜産・酪農収益力強化総合対策基金事業(平成 29 年度補正)

繁殖性向上対策事業(技術力向上のための研修)

「ウシの繁殖性向上に向けた獣医療技術講座」

in 宮崎大学

参加申込書

⇒ 申込先 E-mail : oubo@jlta.jp または FAX : 03-3836-2302

公益社団法人 畜産技術協会 宛

★ 参加ご希望の方は、必要事項を下記にご記入の上、お申込みください。

★ 申込締切日 平成 30 年 9 月 14 日(金)

所属・役職					
ふりがな 氏名					
年齢	才	性別	男	女	長靴のサイズ cm
現在の 業務内容				超音波画像診断、OPU 等の経験年数	年
住所	〒				
TEL			FAX		
携帯 TEL			E-mail		

以下、該当項目に○を付けてください

防護服のサイズ	S	M	L	LL
交通手段	自動車		公共交通機関	
資格について	獣医師	家畜人工授精師	家畜受精卵移植師	該当なし

☆ 緊急時に連絡できる携帯電話番号をご記入ください。

☆ 実習受講者の選考では、「現在の業務内容」等を参考にいたしますので、必ずご記入ください。

☆ 選考結果については、後日連絡いたします。

タイムスケジュール

【2018年9月28日（金）】

宮崎大学木花キャンパス

日付	時間	項目及び内容	場所
9/28 （金）	9：30～	受付	産業動物教育 研究センター 2階 大学院演習室
	10：00～12：00	体外受精卵作出に関する技術（講義）	
	12：00～13：00	昼休憩	
	13：00～15：00	OPU技術（演習）	同センター1階 大中動物 検査・実験室
	15：00～17：30	体外受精胚作出技術（演習）	農学部 動物病院棟 臨床実習室